

事務事業名		中国帰国者等生活支援事業(単独)			会計	一般会計					
課等名		福祉課			事業種別	政策		開始	20	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
		施策	36	生活困難者の自立及び支援							
目的	対象(誰・何を)	中国帰国者 負担金支出先:中国帰国者交流会			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	帰国者同士がふれあいをすることにより、安心して生活が送れるようにする				国費帰国者数(人)			55		
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(外国人を含む)(%)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	交流会への参加者数/国費帰国者 (%)			60	49	50	40			
	定性目標										
事業概要	1 日本での生活が定着しても、孤立化しないよう、同じ境遇を過ごしてきた帰国者同士のふれあいの場を設け、交流を図る。										
24年度事業内容	事業内容				名称				活動指標		
	1 中国帰国者交流会 2 傷病見舞金の支給				1 参加者数 2 支給件数				27人 0件		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		125	148	125	148						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		125	148	125	148						
人件費計(千円)②		0		715							
正規職員所要時間				200							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		125	148	840	148						
事業内容・目標達成状況の振り返り	参加者の減少が目立った。昨年度参加者で本年度不参加だった者が7名、昨年度不参加で本年度参加した者が1名いた。当初参加申し込みしていたが、体調がすぐれず、日が近くなってから不参加の連絡をする者も何名かいた。帰国者の高齢化により「外に出るのが億劫」というだけではなく、介護施設に入所する者や病院に入院する者が増加していることも要因と考えられる。										
改革改善の考え方	①問題点	中国帰国者等の高齢化により、交流会への参加者数が年々減少している。									
	②改革提案	交流会自体の規模を徐々に縮小する方向で考えねばならない。同時に、参加できる方々へは積極的な呼びかけを行い、意義のある交流会となるよう一層の工夫が必要である。									